

## 「有機系汚泥」を、再生変換させてワンダーボックスが創り出す 高品質微生物有機肥料『バイオワンダー』!

従来の化成肥料や有機質肥料との大きな違いと、肥料の概念を大きく変える「バイオワンダー」の優れた特徴!

「バイオワンダー」は、微生物の宝庫。

1gのバイオワンダーの中には、放線菌、糸状菌を主に約15億の有効微生物が存在することです。

「バイオワンダー」は、「生きている土」を作ります。

バイオワンダーの持つセルロース構造は、保水力と通気性に優れた土壌環境を作り出し、有効微生物の活性化を助けます。有効微生物は有機物を分解し栄養バランスのとれた土壌を作ります。

「バイオワンダー」は、

病気・害虫に強い、丈夫で健康な植物に育てます。

耐病性、抗菌性、殺菌能力のある放線菌が植物を病気から防ぎ、糸状菌は大気中の酸素、窒素を土中の植物の毛根部に送り、根の発達を助け土壌の栄養を効率よく吸収する役割をします。

「バイオワンダー」は、

従来の肥料と違い播種時から使用できます。

初期育成から根の伸長と発達を促進させ、成長速度を早め早期収穫、多収穫が可能です。

「バイオワンダー」は、無臭で、

土壌改良もかねた理想的な有機肥料です。

肥料成分が凝縮した粒状で、高い肥料効果を持ち長期間効果が持続します。省力化と簡便性に優れており、無臭なので使用場所を選びません。

「バイオワンダー」を使用したお客様からナメクジ、アブラムシ等の虫が付きにくいという報告が多く寄せられています。

導入へのご案内!

事前研修について、

ワンダーボックスプラント導入の際、事前に岩淵健一の生物化学技術「正しい微生物発酵」についてプラントを担当する方に研修を受けていただきます。

原料有機汚泥について、

ワンダーボックスプラントは、有機系汚泥とパルプ汚泥を混合することで超高速発酵を行ないます。ほとんどの食品汚泥、下水汚泥の再生有効利用が可能です。パルプ汚泥の代わりに故紙<sup>2</sup>の使用も可能です。

<sup>2</sup>(故紙混合式超高速発酵法、特許：平11-369182)

事前発酵テストをお勧めします。

ワンダーボックスプラントの導入をご検討時には、事前の発酵テストをお勧めしています。その上で発酵条件を検証し導入プランをご提案いたします。新しい検体の場合、テストには約1ヶ月かかります。

食品残さの再生有効利用について、

事業系食品残さは、不純物の混入、種類の多さが、再生処理方法を難しくし、安定した肥料化を困難にしています。弊社では、食品残さを前処理で細かく粉碎裁断し、ワンダーボックスプラントで処理再生するプランをご提案しています。これによって高品質な肥料を生産でき理想的なリサイクルが可能になります。

ワンダーボックスプラント特許使用料について

ワンダーボックスプラントには、製造技術に関する特許使用料が含まれています。但し、その肥料を販売する場合は弊社の品質管理の基に「バイオワンダー」というブランドで販売をして頂くこととなります。あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。

以上、詳細につきましては、当社までお問い合わせください。